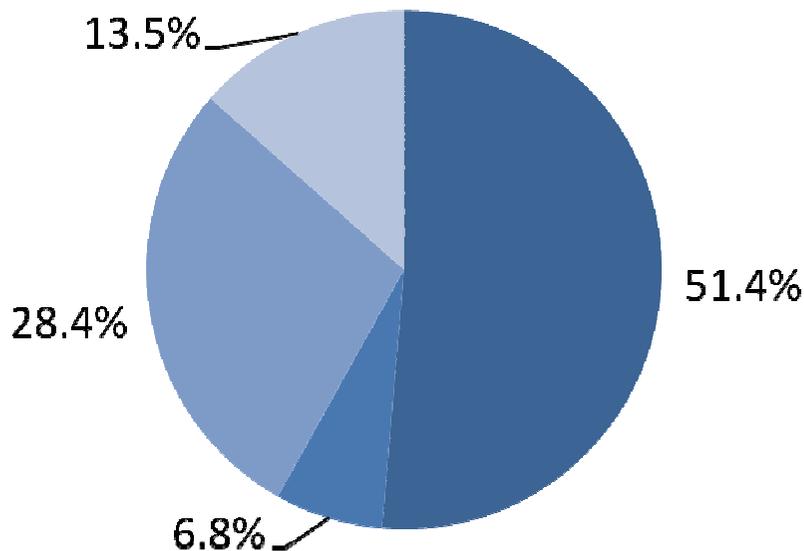


## 2. 報酬体系の簡素化について

現行の介護報酬の体系では、加算・減算の種類が多く報酬体系が複雑で、「利用者にとって分かりにくい。」「ケアマネジャーの給付管理が大変である。」などといった意見があります。一方で、「サービスの内容に対する評価を的確に報酬に反映させるためには、加算・減算の仕組みが必要である。」という意見もあります。また、加算・減算の中には、実績としてほとんど請求されないもの、逆にほとんどの場合に請求されているものも多くあります。そこで、このような意見や実態を踏まえ、介護報酬における加算・減算のあり方についてどのように考えますか。  
(1つだけ選択)

- ア. できるだけ加算・減算項目を減らし、事業者の事務負担を軽減する方がよい。
- イ. できるだけ加算・減算項目を増やし、事業者のサービス内容を評価する方がよい。
- ウ. 現行のままでよい。
- エ. その他



### 回答結果

回答総数: 74市

各選択肢の回答数と回答比率

ア: 38市 ⇒ 51.4%

イ: 5市 ⇒ 6.8%

ウ: 21市 ⇒ 28.4%

エ: 10市 ⇒ 13.5%